

総 括 決 議 文

1995年10月16日から17日まで、ロシア連邦ボルゴグラード市で開催された第4回世界平和連帯都市市長会議理事会出席者は、

都市連帯推進計画に賛同するすべての都市相互の緊密な連帯を通じて、核兵器廃絶の市民意識を国際的な規模で喚起するとともに、人類の共存を脅かす地域紛争及び飢餓・貧困等の諸問題の解消、さらには難民問題、人権問題の解決及び環境保護のために努力し、もって世界恒久平和の実現への寄与を掲げた世界平和連帯都市市長会議の設立目的を確認し、

この目的に沿った市長会議のこれまでの活動状況並びに各理事都市の活動状況を報告し合い、

市長会議をより強固に、また活性化するため、今後の活動方針として、理事都市を追加し、新たに広く賛同の呼び掛けを行い、広島・長崎両市の協力のもと、原子爆弾の被害を広く世界の市民に認識してもらうため、希望する連帯都市において「ヒロシマ・ナガサキ原爆展」を開催することを確認し、

今年に入ってから中国及びフランスによる核実験に強く抗議するため、理事都市市長の連名で、抗議文を送付したことを報告し、また今後のいかなる核実験にも同様の抗議を行うことを確認し、さらに核実験即時停止を求める緊急アピールを採択し、

国際司法裁判所に対し、核兵器使用の違法性を強くアピールするため、別紙の決議文を採択し、これを市長会議として国際司法裁判所へ送付するとともに、各理事都市は自国の政府へ送付することを確認し、

今後予定される包括的核実験禁止条約の例外なき完全実施を求め、さらに第4回国連軍縮特別総会の早期開催を求めるため必要な行動を行うことを確認し、

さらに第4回世界平和連帯都市市長会議を1997年に、広島・長崎両市において開催することを確認した。

なお、世界平和連帯都市市長会議の活動を強化するため、理事都市の指導の下に地域ブロック会議の開催に努力すること、及び包括的核実験禁止条約締結会議に向けて広島・長崎両市とともにヨーロッパの理事都市が共同行動をとることが提案された。

最後に、理事会出席者は、この総括決議文の写しを、すべての連帯都市に送付することを決定した。

1995年10月17日

第4回世界平和連帯都市市長会議理事会
ボルゴグラードにて